

詞玉緒補遺

二

和書門	
八四九	一八三
冊架函號類	冊架函號類

庫文閣内	和書
二七函架	一八四五六冊架
一四架	一八四五六冊架

内閣文庫	
番號	和 18459
冊數	6 ( 2 )
函號	207 261

和歌雜詠

新



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

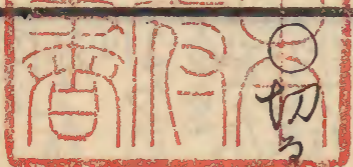
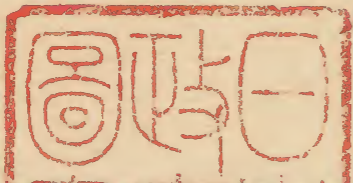
Kodak Gray Scale



Kodak, 2007 TM: Kodak

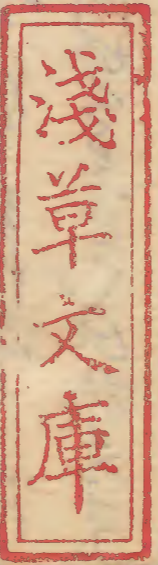






手引乃系二之卷

○玉緒四の巻



や

切や

語のよちめはかくや。ゆりとも玉緒よりありしを按じれば同  
かゝるま乃や。ゆり切を初よりまゝ格なるもの玉緒より  
さゝしきればさあ

万八  
子さそのあしけを乃ちまきひそつや。りいふふんき  
後拾  
をれりあそし梅をさふくりまふんはさるあそんとりま  
羽衣  
際さるあそしや。みちのけあそこのまふんはさるあそし  
物に梳  
あそしあそしあそしあそしあそしあそしあそしあそしあそし  
と

○手引の巻二

10















































夕陽

夕陽の影をみれば 夕陽の影をみれば 夕陽の影をみれば  
夕陽の影をみれば 夕陽の影をみれば 夕陽の影をみれば  
夕陽の影をみれば 夕陽の影をみれば 夕陽の影をみれば

後

玉緒の影をみれば 玉緒の影をみれば 玉緒の影をみれば  
玉緒の影をみれば 玉緒の影をみれば 玉緒の影をみれば  
玉緒の影をみれば 玉緒の影をみれば 玉緒の影をみれば

後

あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば  
あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば  
あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば

◎

あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば  
あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば  
あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば

あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば  
あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば  
あつちの影をみれば あつちの影をみれば あつちの影をみれば



















































あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ

あふうまきしーひきまふあふひ















新橋のほろい入をかきむとたのびころりたろーかたろ

あまの丁山里のーのりともよ家うらまてみるめかりを

これら身語のやうにのりまねと和泉式社のまらよ

さくねうーいふまふくー

松のそびえてまぬく節のとりま月』とまふ人まはし

こりまきく身語よらめしちまきーいとのれまそと

いふたばうらまそま思しとまふし

こま前のこまそまらふまらうーまふれと

いふまふらまそ

庚申

三浦



